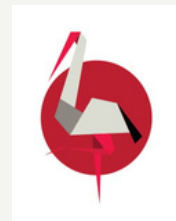


社会福祉法人 福田会 週次報告書

2022年8月2日 / Vol. 012



7月25日(月)～7月31日(日)の支援活動

支援所・学生寮への支援物資提供

レストランプロジェクト

食材支援



日本の支援者の皆様からいただいた
応援メッセージをウクライナ語に
翻訳して掲示しています！



食材支援では、子どもたちも一緒に買い物のお手伝いをしている。
予算の中から子どもの好きなクッキーやお菓子を買う家庭も多い。

ご支援総額

2022年7月27日までの寄付総額 97,939,632 円

寄付金使用総額 1172203.82 zł (3,400万円)

7/25(月)～7/31(日)の期間中の寄附金使用額

23361.25 zł(約68万円)

活動内容



支援所・学生寮への支援物資提供

クラクフ中央駅地下のカリタス支援所へ週3回の支援物資提供。
また、オポルスカ支援所（前：クラクフ駅プラットフォーム4番支援所）への支援物資提供を開始。週に2回、必要物資の配達を実施予定。

ウクライナからの避難民46名が滞在する学生寮へも、毎日の昼食の配達に追加して、週に1度フルーツの配達を実施。



レストランプロジェクト

4店舗と協力し1週間で約1100食を提供。

各レストラン、店舗営業をしつつ毎日たくさんのクーポン利用者を受け入れている。

なるべく多くの方がレストランを利用する機会が得られるよう、ウクライナ人ボランティアが支援所で一枚一枚クーポンの配布を行った。



食材支援

24家族に1週間分の昼食用食材を提供。

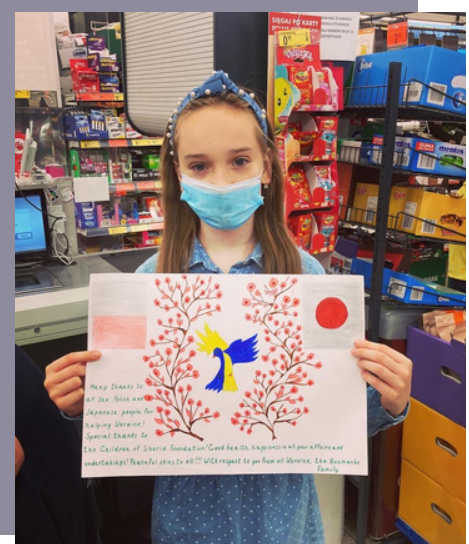
合計で 2994.91 zł (約87,000円)分の食材を購入。

各家庭サンドイッチ用の食材や肉・パスタ・米などの主食のほか、肉や野菜、お菓子やケーキなどを購入していた。



また、毎週家族で食材支援の買い物に参加している女の子から手作りのメッセージを受け取った。

メッセージには “ウクライナを助けて下さっている全てのポーランドと日本の皆様、とくに福田会を介した支援者の皆様に、多大なる感謝を申し上げます。
皆様が健康で、幸福で、全ての物事が順調でありますように。みんなが平和な空の下で過ごせますように。
ウクライナから敬意を込めて。” と書かれている。





現地の動向

ポーランドでは物価の高騰が著しく、インフレ率は15%にも及んでいる。平均所得が日本の約3分の1であるのに対し、生活費・外食費等は日本とほとんど変わらないため、庶民の生活は圧迫されている。

物価の高騰を受け、ポーランドでは一部で砂糖の買い占めが発生しており、スーパーでは購入制限が設けられた。

この影響を受け、食材支援では砂糖を購入する家族の姿が目立ち、支援所への物資提供で砂糖を購入した際には、一人1パック(1kg)までの制限により、必要数を確保することが出来なかった。

また、ポーランド国内においても新型コロナウイルス感染症患者数が増加傾向にあり、8月中旬から下旬にかけて1日の新規感染者数が8,000~10,000人に上ると予測されている。

